

《第2期「稚内市まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定にあたっての基本的な考え方》

- 国の「まち・ひと・しごと創生基本方針2019」に示されているとおり、「継続を力にする」という姿勢で、第1期で根付いた地方創生に向けた取り組みを推進する。併せて、「第2期における新たな視点」に重点を置き、具体的な施策を検討していく。
- 今年度が初年度となる「第5次稚内市総合計画」の基本目標や成果指標等を踏まえ、総合戦略の施策を検討、展開する。

第1期「4つの基本目標」

1. 地域特性を活かした産業振興を図るとともに、安定した雇用を創出する
2. 本市の魅力と特色を広く発信し、新しいひとの流れをつくる
3. 若い世代の希望をかなえ、安心して結婚・出産・子育てできる環境を整える
4. だれもが安全で安心して住み続けられる生活環境を確保する

本市の総合計画や右記の「第2期における新たな視点」を考慮し、本市の新たな「4つの基本目標」を設定

第2期「4つの基本目標」(案)

1. 地域特性や資源を活かした産業振興を図り、魅力ある仕事をつくる
2. 本市の魅力や特色を広く発信し、新しいひとと資金の流れをつくる
3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるとともに、次代を担う人材を育てる
4. 誰もが安心して生活を送り、各々が役割を持って活躍できる地域社会をつくる

国が示す「第2期における新たな視点」

- ① 地方へのひと・資金の流れを強化する
 - ・地方移住にも繋がる「関係人口」の創出・拡大
 - ・企業や個人による地方への寄附・投資等による資金の流れの強化
- ② 新しい時代の流れを力にする
 - ・Society5.0の実現に向けた技術の活用
 - ・SDGsを原動力とした地方創生
- ③ 人材を育て活かす
 - ・地方創生の基盤をなす人材に焦点を当て、掘り起こしや育成、活躍を支援
- ④ 民間と協働する
 - ・地方公共団体に加え、NPO等の地域づくりを担う組織や企業と連携
- ⑤ 誰もが活躍できる地域社会をつくる
 - ・女性、高齢者、障がい者、外国人等の誰もが居場所と役割を持ち、活躍できる地域社会を実現
- ⑥ 地域経営の視点で取り組む
 - ・地域の経済社会構造全体を俯瞰して地域をマネジメント

《第2期「稚内市まち・ひと・しごと創生総合戦略」にて想定される施策(例)》

- 企業版ふるさと納税の活用
- 稚内空港と核とした誘客促進
- 地域エネルギー会社設立に向けた取組の強化
- 子育て世代に対する経済的支援の充実 など